

広告

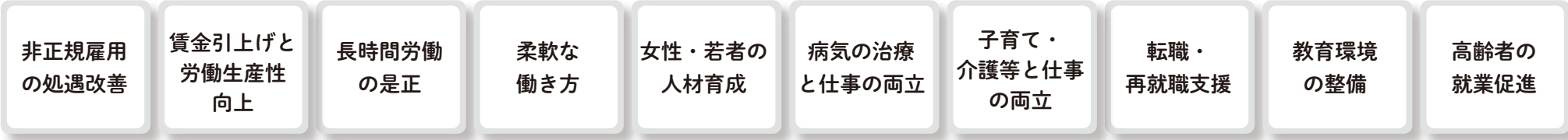
# 「働き方改革」あなたの会社でも

多様な働き方を自分で選べる社会を目指す「働き方改革」。働く人が、より良い将来の展望を持てるようになり、社会全体で、成長の成果を人々に届ける成長と分配の好循環につながります。これは「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」や「働く方々のニーズの多様化」といった課題に対応するためにも重要なこと。人手不足解消や生産性向上にもつながることから個々の企業でも導入が進んでおり、働く人もメリットを感じています。

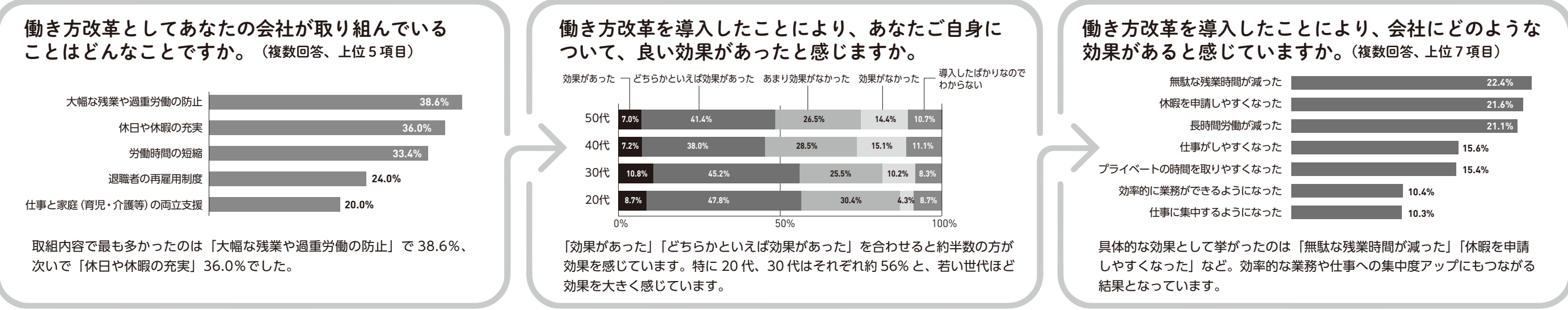


たくさんのメリットがあります

できることから始める



働き方改革に取り組んでいる全国中小企業の従業員700人に聞きました「2019年1月 PR総研によるインターネット調査より」



## 働き方改革地元企業の取組事例

**ジェムスクール（香川県観音寺市）**  
代表：合田 美雪 さん

**独自の組織や仕組みで生産性向上**

同社は、香川と愛媛で英会話教室を12校展開。役職がなくフラットな「ホラクラシー型組織」やITツールのクラウドを活用して情報を共有化し、他勤務地と密接なコミュニケーションを図ることなどで、労働生産性を上げ、満足度の高い働き方ができる環境を整えている。

ホラクラシー型組織は、「部・課」といったピラミッド型ではなく、各業務に対して対応可能な社員が担当に付く。業務の目的意識や情報は共有されているので、急用で誰かが休んでもストレスなくスムーズにカバーできる。

またスタッフのうち、半数以上が女性。子育てや介護をしながらでも働けるよう、在宅勤務を導入したり勤務時間を本人の事情を勘案して設定できるようにしている。一人一人の能力が発揮できるシステムを構築、運用することで、売上高もここ数年堅実に伸びているという。

**株式会社パワーネット（香川県丸亀市）**  
代表取締役：谷淵 陽子 さん

**柔軟な勤務体系を整え売上アップ**

人材派遣業を展開する同社は、登録者の80%以上が子育て中の女性、同社従業員12人のうち11人が女性で、ほとんどが子育て中など女性が活躍できる場の開拓に注力している。

「以前は残業は当たり前だった」と話す代表取締役。このままでは子育て中の従業員が仕事を続けられないと考え、「働き方改革推進チーム」を結成、生活と仕事が充実できる職場づくりに取り組んだ。

担当者が不在でも、仕事が滞らないように業務をマニュアル化し、従業員の負担を平準化。多様な時間帯で働けたり、急な休みでもフォローし合える柔軟な勤務体系を整えた。

その結果、2016年から社員の残業はほぼゼロ、有給休暇の消化率90%以上を達成したうえ、売上高はここ2年間で約1.8倍に急伸。社員と家族が物心ともに豊かになる同社のスタイルを実現させた。

政府広報 | 厚生労働省・中小企業庁

ちゃんと有給取らせてあげれば、仕事の配分が見直せる。  
ちゃんと残業管理してみたら、業務のムダが見えてくる。  
ちゃんと待遇を良くすれば、社員のやる気も湧いてくる。  
そうしたら、ちゃんと業績も良くなって、社長の株も、ちゃんと上がるさ。

**やってみる  
もんです。**

# 中小企業も！ 働き方改革

—— 2019年4月1日より順次施行 ——

**1 有給休暇年5日取得**  
2019年4月1日より施行

**2 時間外労働の上限**  
中小企業は、2020年4月1日より施行

**3 同一労働同一賃金**  
中小企業は、2021年4月1日より施行  
※労働者派遣法は2020年4月1日より施行

業種ごとの取組事例や助成金・補助金などの支援策、相談窓口など、  
**詳しくは**